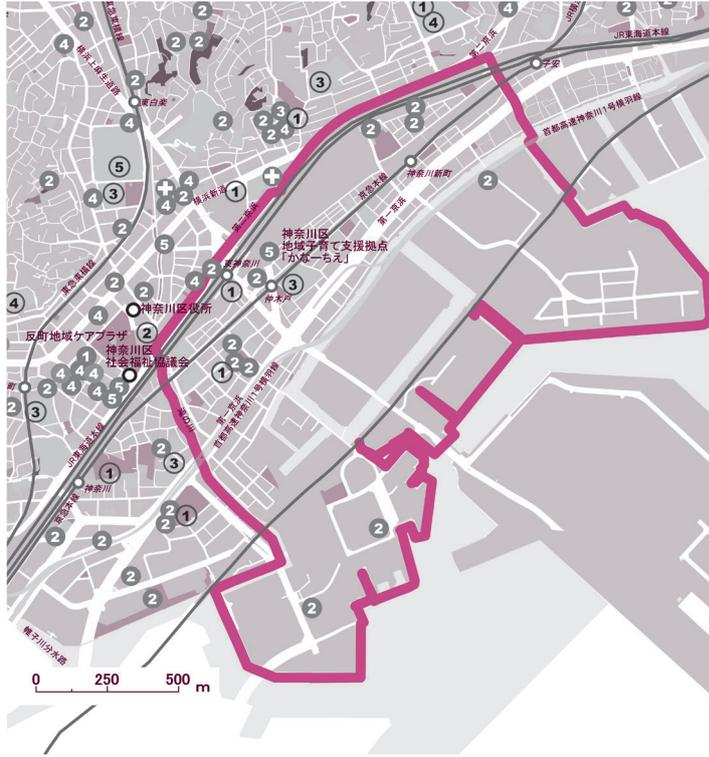




神奈川地区

- ① 集会施設、文化施設
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



地区概要

京浜東北線から海側に広がる地区です。

地区内には京急線の神奈川新町駅、仲木戸駅があります。

住宅は京浜東北線と首都高速道路横羽線の間を中心に分布しており、古くからの戸建中心の住宅地があります。

横羽線の海側は主に物流や工業関係の土地利用になっていますが、平成16～20年にかけて大規模な集合住宅地の開発があり、マンションが多く建つ地域があります。

地区基礎データ

●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

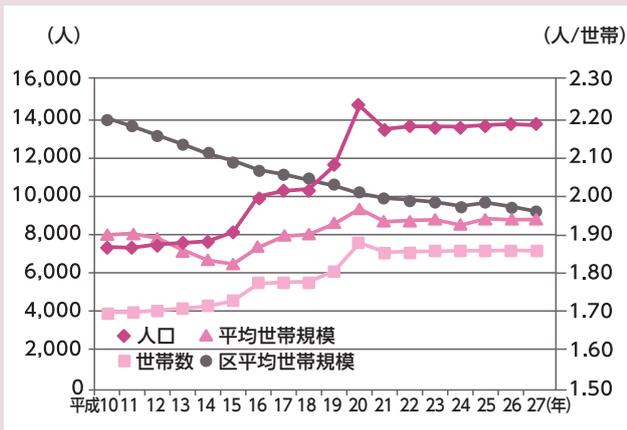
	神奈川地区	神奈川区
総人口	13,669人	232,788人
0～14歳	2,016人(14.7%)	27,667人(11.9%)
15～64歳	9,321人(68.1%)	155,501人(66.8%)
65歳～	2,324人(17.0%)	49,620人(21.3%)
総世帯数	7,045世帯	118,697世帯
平均世帯規模	1.94人/世帯	1.96人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	855世帯(12.1%)	15,662世帯(13.2%)

人口は、この約10年間、増加傾向にあります。

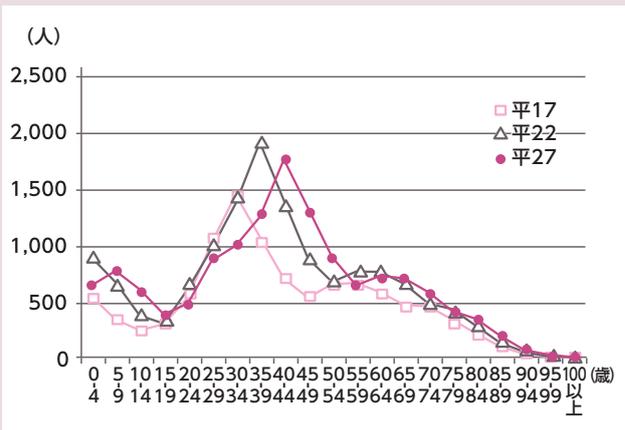
20歳台の転入増加傾向が続いており、25～49歳人口が特に多く、15～64歳人口の割合が区平均より高くなっています。

平均世帯規模は従来から区平均より小さく、同様の傾向が続いています。

●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



●年齢5歳別人口の動向



*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

つながる 広がる 神奈川の『わ』

これまでの取組とこれからのに向けて

神奈川地区では、見守り活動や健康づくり、認知症予防活動など、町会ごとの特性や課題に応じた活動が行われています。また、地区センターや子育て支援拠点などの公共施設や学校、医療機関なども多い地域です。今後は、町会や地区社協などの団体・組織の情報共有を進め、連携していくと共に、これらの施設を地区の資源として活用し、さまざまな活動で連携することが求められています。

一方、マンション地区では子育て世代も増えおり、これまで行われてきた活動とマンション地区などの若い世代の力がつながることで、地区全体で地域の活動を支える新たな仕組みが生まれることが望まれます。

目標1 地域の見守り、支えあいを広げていこう

【取組】

- ◆「ふれあい訪問事業」を推進し、地域のひとり暮らし高齢者等への見守りを行っていく
- ◆「住民支え合いマップ」の作成に取り組み、身近な見守り活動を進めていく
- ◆高齢者が集うサロンや、カラオケ、食事会、健康づくりを目的とした体操等、気軽に集える場や機会を増やしていく
- ◆小学校の登下校時の見守りなどを行い、子どもたちを地区全体で見守っていく



グランドゴルフで健康づくり

目標2 さまざまな世代へつながりと活動の担い手を広げていこう

【取組】

- ◆地域のお祭りやスポーツ大会、防災訓練などの地域の行事を活用し、より多くの住民の顔が見える関係づくりに取り組む
- ◆元気な高齢者、学校で活動する父母など、多彩な人材に積極的な呼びかけをすることで地域活動に関わってもらう機会をつくる
- ◆学校と地域が連携した地域行事を行うなど、多世代間の交流を図っていく
- ◆青少年の居場所をつくり、地域への愛着を育てていく



お祭りで世代間交流